

シニア就労の現状と新たな働き方による未来

2017.1.20

株式会社リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター
センター長 宇佐川邦子

I. はじめに

リクルートグループのご紹介

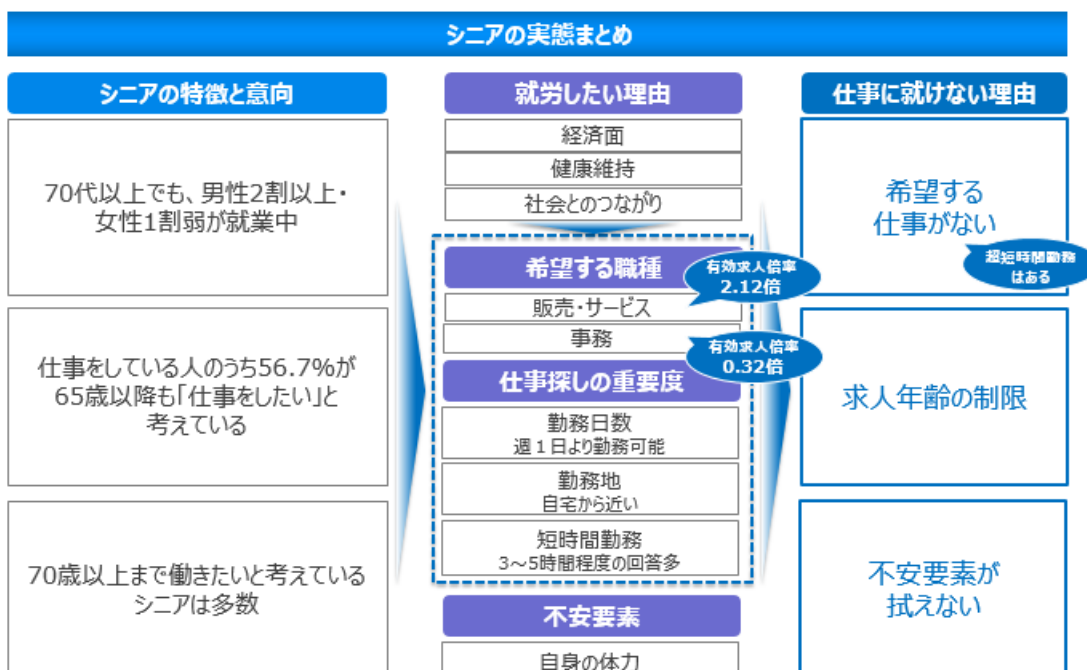
II. シニア就労の現状

- ・崩れる人口ピラミッド(少子高齢化)
- ・労働力の高齢化が進み、若年層減少
- ・上昇する有効求人倍率→22年間で最高水準
- ・年齢別就業率
- ・性年齢別職種別就業状況
 - 「事務職」「専門・技術職」が減少し、「サービス業」「運搬・清掃・梱包」「生産工程」が多い

Q. みなさん！どのような働き方をしたいですか？

III. シニアの実態(ジョブズリサーチセンター調査、対象:60~74歳)

- ・現在の職業---70代前半でも、男性3割以上・女性2割弱が就業
- ・何歳まで働きたいか---現在年齢の+5~10歳までは約6割が働きたい
- ・働きたい理由---「健康維持」「社会とのつながり」が収入面と同等レベルで約3割
- ・希望する職種---「販売・サービス」「事務」に集中
- ・希望する勤務時間---3~5時間程度が半数
- ・今後の仕事を探す時のポイント---「勤務日数」「勤務地」
- ・仕事に就けない理由---「希望する仕事がない」
- ・働くために重要だと思う事---「体力」に不安を感じるとの回答も多い



IV. 政府や自治体の動き

- ・シニア就労を支援する政府の動き---「ニッポン一億総活躍プラン」(平成 28 年 6 月 2 日閣議決定)
- ・企業に対するシニア雇用への例外処置や助成金制度

Q. 働こうとしても、「企業が積極的ではない」と感じたことはありませんか？

- ・リクルートジョブズの取り組み---企業の「思い込み」を解消するには

Q. どんな仕事であれば採用されやすいでしょうか？

V. 働きやすい領域と働くメリット

- ・産業別労働者過不足状況---切迫度が高い産業は、「サービス業」「小売業」「運輸業」「医療・福祉」
- ・働きやすい領域---切迫度が高く、シニアの就業希望条件に合致するグレー及びブルーカラー職種
- ・働くことと健康との繋がり---未就業者も 80%が、働くことが健康につながると感じている
- ・高齢者の有業率と医療費の関係---有業率が高い都道府県ほど、一人当たり老人医療率は低い

VI. 新たな働き方(企業の取組)

- ・「飲食店」においての 1 日 1~3 時間の就業案件比率が増加
- ・「フード系」の職種においての 1 日 1~3 時間の就業案件比率が増加

Q. 実際に働いている同世代の仲間は、就労について、どのように感じているのでしょうか？

VII. シニア活躍の事例

- ・ガソリンスタンド: 事例1
- ・ガソリンスタンド: 事例2(声)---新しい出会いが、生きる実感
- ・ディスカウントストア(声)---散歩がわりの「朝の超短時間勤務」をエンジョイ
- ・コンビニエンスストア(声)---「行ってらっしゃい」の声掛けが毎日の充実に・・・
- ・介護サービス(声)---「ありがとう」と言われることが嬉しい！

VIII. 最後に

